

(理念)

暖もりのある笑顔と

思いやりの心があふれる

和やかなわが家

(基本方針)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

1 経営基盤の安定化

- ① 中長期計画の策定し、職員への周知を図る
 - ・各事業所の稼働率アップに取り組み、増収へと繋いだ
- ② 法人組織の体制整備
 - ・執行理事として専務理事、常務理事を指名
- ③ 人材の確保
 - ・離職率の多い中、各事業所の適性な職員配置を確保することが出来た
- ④ 経費の削減に努めた
 - ・備品、日用品等の購入に見積もりを徴し、品質、単価等を考慮し購入した
- ⑤ 人事異動
 - ・人事異動を施行し、各事業所の活性化を図った
- ⑥ 人事考課制度の導入
 - ・人事考課を施行し、賞与等に反映した
- ⑦ 食事提供について
 - ・シダックスによる食事提供を解消し、法人直営で提供することで協議を行った

2 人材育成

- ① 人事考課制度による職員育成と人材活用
 - ・適材適所の職員配置を実施した
- ② 自己申告等による職場改善意識の向上
 - ・人事異動
 - ・現在の業務内容
 - ・現在の職場について
 - ・能力開発について

- ・目標
 - ・仕事・職場への意見、提案
- ③ 資格取得のための研修会への参加
- ・介護福祉士合格 2名
 - ・手話教室の開催
- ④ 研修実施 別紙資料

3 求められる施設づくり

- ① 人材確保の検討を行う
- ・採用活動の強化
- ② 自己申告等による職員ニーズの把握と職場環境づくりに反映した
- ③ 入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和か会」「談話会」を毎月開催し、情報提供や入居者から提案、意見、要望を聞き、施設運営に活かし、信頼関係を構築した
- ④ 嗜好調査を実施し、献立に反映させた
- ⑤ 給食委員会を開催し、食事内容・要望等を協議し、献立に反映した
- ⑥ 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービスの質の向上を図る
- ⑦ 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ、園芸、将棋、野菜づくり、釣り等）、レクリエーション等を実施した
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る

4 地域との連携を図る

- ① 湖南地区広域総合火災避難訓練の開催
- ② 手話教室に地域住民参加
- ③ 納涼祭の開催
- ④ 地域交流バーベキュー
- ⑤ 法人広報紙「だんのさと」年2回発行し、地域、関係機関へ送付
- ⑥ 学生の実習受け入れ
- ⑦ 認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る
- ⑧ こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える
- ⑨ 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティアの活用、湖南学園、保育園の交流を図り、入居者の生活に潤いをもたせた
- ⑩ 「特殊建築物の定期調査」及び「防火設備の定期検査」結果を市へ報告義務付け

平成30年度 事業報告書

施設名： ケアハウス暖の里(本館)

計 画 項 目	具 体 的 な 内 容
基本項目	<p>施設の理念</p> <p>暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家</p>
	<p>施設の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生によるふくしの実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
	<p>施設の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 利用者・来客者の方々への挨拶は、出来る様になっている。 (2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。 湖南学園吹奏楽部の夏祭り参加依頼、湖南学園生わくわく職場体験、学園二年生の施設見学、学園吹奏楽部の夏祭り参加依頼、湖南地区納涼祭・め地区運動会等への参加して地域との交流に努めた。
<p>入居者へのサービス提供</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努める。 個々の通院依頼も増加し、夜間の介護サービスも増加しているが、入居者のニーズに応えるべく頑張っています。 ②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和み会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努める。 入居者の方々からのご意見・要望等が出てくるようになり、行事等に取り入れて、実施している。 ③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・園芸・将棋・釣り等)・レクリエーション等を実施する。 虹のキャラバン隊でアントニオ古賀・渚ゆう子ショー、大正琴演奏会、クリスマスイベントカラオケ慰問グループ等年間を通して楽しんで頂けるよう努力している。 また、園芸部門で季節野菜、じゃがいも、玉ねぎ、里芋、サツマイモ等栽培し厨房で調理してもらいました。さらにシイタケ栽培も始め、年末にはたくさんの収穫がありました。 ④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 体操は毎週実施しているが、天候の良い日には、施設内散歩を行い体力増進に努めている。グランドゴルフも好評で楽しみにしておられる。 ⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して 相談に応じるとともに、適切な助言等を行い心身の安定に努める。 毎月和み会を実施し入居者の方からの要望・ご意見をお聞きしている。個々の相談事項についても相談員が随時対応し、内容については職員間で検討して周知を図っている。 ⑥施設サービスに対するの満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 入居者・保護者への調査を実施し結果については、入居者・家族へ文書で報告している。

事業項目

給食(食育)	<p>①食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。 誕生会等の行事食、季節の旬の料理を取入れ絶えず満足して頂ける食事になるよう努めた。</p> <p>②入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気作りに配慮する。 食事時に音楽を流し楽しい雰囲気の中での食事に努めている。</p> <p>③嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。 嗜好調査を実施し、要望等を献立に反映している。</p> <p>給食(食育) ④給食委員会を毎月実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。 厨房との給食委員会を開催し利用者からの要望等を伝達し調理に反映することが出来た。</p>
衛生管理・環境	<p>①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。 早期発見に努め、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。</p> <p>②インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。 絶えず施設内の感染予防消毒は実施している。今年度は、インフルエンザがまん延することなく、入院者も無かった。</p>
安全対策・事故防止	<p>①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 必ず救急法講習・AED講習会をケアハウス・ディサービス合同で実施している。</p>
保護者・家族への支援	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 4月・10月本館での諸行事について記載しご家族の方に情報提供を行っている。</p> <p>②入居者の方の近況報告を年2回行う。 ご家族の方が県外の方には、ご本人の近況報告を行い、ご面会をお願いしている。</p>
地域との連携(地域貢献)	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 施設内の活動内容を地域の方に紹介し、理解を求めながら相互交流を図っている。 特に手話教室開催しているが、地域の方の参加が増えて好評である。</p> <p>②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 吉岡消防団、湖山消防署との合同火災避難訓練を実施した。</p> <p>③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。 暖の里納涼祭、演歌歌手ステージショーへの招待 湖南地区納涼祭・運動会等への参加し相互の交流を図っている。</p> <p>④手話教室を開催し、地域住民の方の参加して頂き交流を図る。 毎月第三土曜日に湖南児童館で手話教室を実施している。 地域の方の参加が増加し、好評である。</p> <p>⑤学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 湖南学園生、福祉専門学校生等実習生を受け入れており、福祉施設体験実習をして頂いている。</p> <p>⑥地域への貢献として生活困窮者への生活支援の推進 今年度は、生活困窮者への生活支援は実施出来なかった。</p>

経営項目	経営管理	<p>①入居率100%確保 毎月50名以下にならないよう努力している。 退所があっても、必ずその月内には入居者を確保している。</p> <p>②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら入居者確保に努める。 たえず病院、地域包括支援センターとの連絡は取りながら、待機者の方の確保に努め、定員減にならないようしている。</p>
	施設・整備	<p>①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 施設内の修繕に対して職員で修理するように心がけ、節約するよう努めている。。 備品購入についても如何に安く、コストダウンになるよう検討している。</p> <p>②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。 今年度は、灯油地下タンクの定期点検がなされていなかったため消防局より指摘を受け、毎年点検を受けることになる。</p>
	職員管理	<p>職員研修の推進</p> <p>①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 各種研修案内がある中で関連する研修には、参加してもらった。。</p> <p>②資格取得にチャレンジしていく。 今年度は、介護福祉士の取得へのチャレンジ職員がある。 今回異動した職員が介護福祉士を取得している。</p> <p>③ 職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。 各種委員会は、毎月の職員会で定期的に開催し勉強会をおこない資質向上を図っている。</p> <p>④施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。 職員異動があり特に職員間の連携を深めるため個々に話し合いの場を設定した。 また、今年度は、理事長が全職員との面談を行われ意見等聴かれている。</p>
	資金計画	別紙決算書

平成30年度 事業報告書

施設名： ケアハウス暖の里(新館)

計 画 項 目		具 体 的 な 内 容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生によるふくしの実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
	施設の目標	<p>(1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 利用者・来客者の方々への挨拶を明るく努めた。</p> <p>(2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。 湖南学園吹奏楽部の夏祭り参加依頼、湖南学園生わくわく職場体験、学園二年生の施設見学、学園吹奏楽部の夏祭り参加依頼、湖南地区納涼祭・地区運動会等への参加して地域との交流に努めた。</p>
入居者へのサービス提供	<p>①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努める。 個々の通院依頼も増加し、夜間の介護サービスも増加しているが、入居者のニーズに対応出来るよう努めた。</p> <p>②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「だんわ会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努める。 入居者の方々からのご意見・要望・苦情等について検討する問題は後日職員間で話し合い、入居者用の「掲示板」に質問・要望内容、回答内容を開示して周知を図っている。</p> <p>③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・園芸等)・レクリエーション等を実施する。 虹のキャラバン隊でアントニオ古賀・渚ゆう子ショー、大正琴演奏会、クリスマスイベントオカリナ等慰問グループ等年間を通して楽しんで頂けるよう努力している。 また、本館の畑で季節野菜、じゃがいも、玉ねぎ、里芋、サツマイモ等栽培に参加させて頂いた。</p> <p>④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 体操は毎日実施しているが、天候の良い日には、施設内散歩を行い体力増進に努めている。月1回のグランドゴルフも好評で楽しみにしておられる。</p> <p>⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して 相談に応じるとともに、適切な助言等を行い心身の安定に努める。 毎月第一土曜日だんわ会を実施し入居者の方からの要望・ご意見をお聞きしている。個々の相談事項についても相談員が随時対応し、内容については職員間で検討して周知を図っている。</p> <p>⑥施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 入居者・保護者への調査を実施し結果については、入居者・家族へ文書で報告している。</p>	
事業項目		

事業項目

給食(食育)	<p>①食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。 誕生会等の行事食、季節の旬の料理を取入れ絶えず満足して頂ける食事になるよう努めた。</p> <p>②入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気作りに配慮する。 食事時に音楽を流し楽しい雰囲気の中での食事に努めている。</p> <p>③嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。 嗜好調査を実施し、要望等を献立に反映している。</p> <p>④給食委員会を毎月実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。 厨房との給食委員会を開催し利用者からの要望等を伝達し調理に反映することが出来た。</p>
衛生管理・環境	<p>①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。 病気に対する早期発見に努め、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。</p> <p>②インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。 絶えず施設内の感染予防消毒は実施している。今年度は、インフルエンザがまん延することなく、入院者も無かった。</p>
安全対策・事故防止	<p>①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 必ず救急法講習・AED講習会をケアハウス・ディサービス合同で実施している。</p>
保護者・家族への支援	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 4月・10月本館での諸行事について記載しご家族の方に情報提供を行っている。</p> <p>②入居者の方の近況報告を年2回行う。 ご家族の方が県外の方には、ご本人の近況報告を行い、面会を依頼している。</p>
地域との連携(地域貢献)	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 施設内の活動内容を地域の方に紹介し、理解を求めながら相互交流を図っている。 特に毎月第三土曜日に手話教室開催しているが、地域の方の参加が増えて好評である。</p> <p>②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 吉岡消防団、湖山消防署との合同火災避難訓練を実施した。</p> <p>③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。 暖の里納涼祭の出演依頼のステージへの招待や湖南地区納涼祭・運動会等行事の参加で相互の交流を図っている。</p> <p>④毎月第三土曜日に湖南児童館で手話教室を実施している。 地域の方の参加が増えて好評である。</p> <p>⑤学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 湖南学園生、福祉専門学校生等実習生を受け入れており、福祉施設で体験実習をして頂いている。</p> <p>⑥地域への貢献として生活困窮者への生活支援の推進 今年度は、生活困窮者への生活支援は実施出来なかった。</p>

経営項目	経営管理	<p>①入居率100%確保。毎月50名以下にならないよう努力している。 退所があっても、必ずその月内には入居者を確保出来るよう努力している。</p> <p>②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら入居者確保に努める。 たえず病院、地域包括支援センターとの連絡は取りながら、待機者の方の確保に努め、定員減にならないようにしている。</p>
	施設・整備	<p>①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 施設内の修繕に対して職員で修理するように心がけ、節約するよう努めている。。 備品購入についても如何に安く、コストダウンになるよう検討している。</p> <p>②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。 各業者へ依頼し機械、設備の定期点検、補修に努めた。</p>
	職員管理	<p>職員研修の推進</p> <p>①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 各種研修案内がある中で関連する研修には、参加してもらった。。</p> <p>②資格取得にチャレンジしていく。 今年度は、介護福祉士の取得へのチャレンジ職員がある。 今回異動した職員が介護福祉士を取得している。</p> <p>③ 職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。 各種委員会は、毎月の職員会で定期的に開催し勉強会をおこない資質向上を図っている。</p> <p>④職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。 職員異動があり特に職員間の連携を深めるため個々に話し合いの場を設定した。 また、今年度は、理事長が全職員との面談を行われ意見等聴かれている。</p>
	資金計画	別紙決算書

1 さとに 暖の里

(1) 施設の現況及び今後の対応課題等

① 安定経営に向けて。

平成 31 年 3 月 31 日現在 登録者 25 名に対し 22 名。平成 31 年 4 月中に登録者数は 25 名になる予定。30 年 4 月スタート時は 22 名。昨年度同様、こやま包括、日赤、等の紹介に加え、尾崎病院からの紹介もあった。要支援の方が 25 名定員に対して 4 名と今までの要介護の方に加え定員数の増加と確保に繋がっている。

エリア別では世紀団地地区、吉岡、浜坂、賀露、湖山町南、伏野、徳尾、下味野、布勢、行徳、宮谷、栗谷、宮長など昨年度よりもさらにエリアも拡大してきた。エリア拡大に伴い送迎、訪問時の職員の分散化が著しくなっている（30 年度は 8 エリア、31 年度は 12 エリア）。それに加え、分散化による日中活動の低下もあり、リハビリのスタッフを中心に活動を行っているが要支援等の状態が軽度の方は活動内容に物足りない状況もある。

設備では車輛と老朽化も進んでいる。訪問件数の著しい伸びにより車輛走行距離も伸びている（29 年度 3 月 689 キロに対し 30 年度 3 月 1665 キロ およそ 1000 キロ走行距離が伸びている）。走行距離も 13 万キロを経過している車輛もある。入浴設備の浴槽も 31 年度は大きな故障は無かったものの 30 年度と同様の故障（ワイヤーが切れ）があった場合の経費と水道代、ガス代の光熱費の増加もある。浴槽が一度ずつ湯を流し捨てるタイプの物のため水道費等も上がっている。

② 業務の効率化

小規模多機能としての機能、機能訓練、広報（ツイッター、インスタグラム）を強みに利用者を獲得してきている事実はあるものの、業務の効率化により事故の防止、業務の効率化を行っていくことが必要となっており、勤務時間の変更や業務を変えていくことで対応を図ってきたが次年度も継続し行っていくことが必要となる。

③ スタッフのレベルアップ。

平成 30 年度もスタッフの退職、体調不良等がありその日その日の業務を回すことで手いっぱいだった。必要な研修にはなるべく参加をできるよう手配をしていきたい。

資格取得者が少ないという現状もあり取得に向けての面談を行う必要もある。高齢者虐待防止法などの内部研修は行ってきたが外部への派遣が行えなかった。

(2) 主な行事

4月	買い物ドライブ
5月	バーベキュー
6月	回転寿司 あじさい公園ドライブ
7月	納涼祭 かっこ館見学
8月	外食(トマト&オニオン かっぱ寿司)
9月	敬老会 10周年記念行事
10月	バーベキュー 足湯ドライブ
11月	公民館文化祭出展 紅葉ドライブ
12月	クリスマス会 忘年会
1月	新年会
2月	節分
3月	ひな祭り おはぎ作り

(3) 年度末の利用状況

①入居者(利用者)定員： 25 登録者数： 22

	70歳 未満	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	計	平均 年齢
男性	1	0	0	2	0	0	1	0	4	79.5
女性	1	0	2	6	3	4	2	0	18	84.7
計	2	0	2	8	3	4	3	0	22	83.8

②入居者(利用者)介護度状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 介護度
男性	0	0	0	1	3	0	0	4	2.8
女性	2	2	4	4	4	1	1	18	2.0
計	2	2	4	5	7	1	1	22	2.1

①月別利用状況

ア(さとに 通所)【延べ利用者数】

月	稼働 日数	計	1日 平均	利用 率
4月	30	425	14.1	94.4
5月	31	468	15	100
6月	30	424	14.1	94.2
7月	31	460	14.8	98.9
8月	31	448	14.4	96.3

9月	30	368	12.2	81.7
10月	31	452	14.5	97.2
11月	30	380	12.6	84.4
12月	31	372	12	80
1月	31	434	14	93.3
2月	28	396	14.1	94.2
3月	31	416	13.4	89.4
計	365	5043	13.7	92.1

イ (さとに 宿泊) 【延べ利用者数】

月	稼働 日数	計	1日 平均	利用 率
4月	30	200	6.7	74.1
5月	31	245	7.9	87.8
6月	30	197	6.6	73.0
7月	31	241	7.8	86.4
8月	31	227	7.3	81.4
9月	30	167	5.6	61.9
10月	31	186	6.0	66.7
11月	30	139	4.6	51.5
12月	31	122	3.9	43.7
1月	31	167	5.4	59.9
2月	28	153	5.5	60.7
3月	31	137	4.4	49.1
計	365	2181	6.0	66.4

イ (さとに ヘルパー) 【延べ利用時間数】

月	営業 日数	件数	1日平均
4月	30	229	7.6
5月	31	255	8.2
6月	30	236	7.9
7月	31	230	7.4
8月	31	254	8.2

平成 30 年度 事業報告書 様式

9 月	30	236	7.9
10 月	31	273	8.8
11 月	30	244	8.1
12 月	31	239	7.7
1 月	31	257	8.3
2 月	28	214	7.6
3 月	31	280	9
計	365	2947	8.1

平成 30 年度 事業報告書

居宅介護支援センター暖の里

平成 31 年 3 月 20 日

① 平成 30 年月別利用者数報告

	要支援				要介護						合計	認定
	予	八	小計	1/2 計	1	2	3	4	5	計		
4 月	14		14	7	23	22	9	2	1	57	64	10
5 月	15		15	7.5	23	23	8	4	1	59	66.5	9
6 月	13		13	6.5	24	24	8	4	1	61	67.5	10
7 月	12		12	6	23	26	7	4	1	61	67	8
8 月	12	1	13	6.5	27	24	7	4	0	62	68.5	6
9 月	11	1	12	6	25	26	5	3	0	59	65	16
10 月	10	1	11	5.5	25	25	5	5	1	61	66.5	9
11 月	12	1	13	6.5	21	26	8	5	1	61	67.5	6
12 月	12	1	13	6.5	24	25	8	6	0	63	69.5	7
1 月	13	1	14	7	24	22	6	5	0	57	64	5
2 月	17	1	18	9	23	25	7	6	1	62	71	10
3 月	17	1	18	9	23	25	6	3	1	58	67	8
合計	158	8	166	83	285	293	84	51	8	721	804	104

② まとめ

- ・平成 30 年度の利用者数の推移は上記の通りである。
- ・平成 29 年 7 月より鳥取市の予防介護事業を受け入れたことにより、64 件から 166 件に増え、同時に在宅利用者が増えている。利用者の高齢・重度化により予防から要介護に移行する件数も多く、全体としての件数・収益増に繋がっている。
- ・集中減算については運営規程のとおり多様な事業所から利用者の選択に基づき提供することで解除に繋がり収益増となった。
- ・今後の介護保険のことを考えると、地域貢献として予防介護に力を入れ重度化を防ぐ努力が必要である。

平成30年度事業報告

デイサービスセンター暖の里

利用者状況（平成30年度）

※利用者人数は、大きな変化は見られないが、総利用数は、29年度より240人程度増加したが、介護施設への入所 入院後死亡 など冬季に多数の退所される方が多くありました。

地域からの申し込みも増加傾向となりました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数(人)	21	22	23	22	23	23	23	22	18	19	22	21
総利用数(%)	89.0	88.6	96.1	88.1	91.3	89.0	86.5	81.3	75.7	74.5	88.0	84.7

行事一覧

※なるべく利用者の希望に沿った行事、レクリエーション等を行うようにしました。

実施月	行 事
4月	桜花見ドライブ 桜餅作り
5月	藤の花・つつじ花見ドライブ さとに暖の里とBBQ
6月	紫陽花ドライブ 笹巻作り
7月	七夕祭り飾りつけ アイスぜんざい作り
8月	夏祭り フルーツゼリー作り
9月	敬老会 お好み焼き作り
10月	ミニ運動会 ドライブ外出 どんら焼き作り
11月	紅葉狩りドライブ さつまいものお菓子作り
12月	クリスマス会 クリスマスケーキ作り クリスマスプレゼントを皆様に贈りました
1月	初詣（白兔神社） 初釜 初笑い（ふくびき、福笑い）
2月	節分（豆まき、ゲーム） ぜんざい作り バレンタイン
3月	ひな祭り フレンチトースト作り
日々のサービス	毎月の展示物の作成・リハビリ体操・言葉集め・クイズ・タオル体操・折り紙・脳トレーニング・カラオケ・塗り絵・北国の春体操

30年度職員研修の取り組み

今年度も、月1回職員会議 研修を行いました。外部から講師を招いたり、消防署での体験、職員を講師としての伝達研修を行い、職員間の情報共有をこれまで以上に行い話し合いをしました。

月日	研修名	研修 内容	参加者	参加数
4/19	介護保険改正	平成30年介護保険改正について	全員	6名
5/25	認知症について	キャラバンメイト	全員	6名
6/21	接遇	接遇 マナーについて	全員	6名
7/19	感染症	食中毒 感染症予防	全員	6名
8/16	事例検討	k様のケアについて	全員	6名
9/8	救急救命	東部消防局にて救急医療について		4名
10/18	虐待について	高齢者虐待 拘束について	全員	7名
11/15	感染症	冬の感染症について	全員	7名
12/20	通所計画	通所計画 モニタリングについて	全員	7名
1/17	苦情対応	苦情 事故対応について	全員	7名
2/21	法令遵守	介護保険における法令遵守	全員	7名
3/28	30年度振り返り	30年度の反省と来年度に向けて	全員	7名

施設外研修

年度初めに研修計画を作成し、施設外研修についても、計画的に職員から希望を聞き参加できるようにした。

まとめ

利用者の重度化に対するケア方法 身体介護 こころのケア 等職員のレベルアップを行うことが早急の課題です。職員全員が同じケアを出来るようになる事が、スタッフの定着につながり、利用者及び家族、地域からの信頼となっていくと考えます。地域から必要とされるデイサービスを目標に努力していきたい。

①月別利用状況（ヘルパー）

月	営業 日数	身体介護		身体生活複合		生活援助		訪問介護（計）		1日平均			
		件数		件数		件数		件数		件数			
4月	30	480		175		189		844		33,2			
5月	31	500		176		188		864		34,0			
6月	30	590		178		191		959		36,1			
7月	31	598		185		307		990		36,6			
8月	31	552		186		230		958		35,1			
9月	30	471		154		216		841		32,1			
10月	31	547		146		246		939		34,1			
11月	30	511		158		230		897		30,3			
12月	31	537		151		238		926		34,1			
1月	31	558		157		235		950		34,5			
2月	28	448		128		223		799		32,4			
3月	31	493		139		244		876		32,0			
計	365	6258		1262		2,627		10,147		33,2			

②総合事業（訪問型独自）

件数 1533件

1日平均 4,2件

まとめ

総合事業も定着し、外部からの依頼も増加しました。冬季に重度化された方が多く、入院 介護施設への転所 逝去された方等利用者の減少がありました。以前から利用されてる方の利用回数が増えるなど、大きな減収にはならなかった。課題としては、スタッフの知識 技術力 判断力のレベルアップできる様、日々研鑽に務めたいと思います。